

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】 エコアクション21取得を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19	☐	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】 環境美化ボランティア活動の実施状況を掲示する。												12.6						
20	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】 本社事務所工場についても電力小売り事業者が用意している再生可能エネルギー比率の高い電力メニューに切り替えることを検討する。							7.2							13				
21	☐	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	地元の県産材料を利用し、天然資材の持続的利用に配慮した調達を行っている。												12.2	13	14	15			
22	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等含むコンプライアンス教育を行い、社内周知徹底している。																16	16.5	
23	☐	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む社内規制を整備し、会議を実施し周知している。																	16	
24	☐	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	製造実績から生コン製造技術・データ等を自社の資産として積極的に集積し、併せて情報漏洩対策を徹底している。									8.2	8.3	9							
25	☐	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報保護方針」に従って個人情報の取り扱いを厳しく管理する体制を整備している。(マスクングして提出等)																	16	
26	☐	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社で取り扱う資材・機材を把握し、紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している。																	16	
27	☐	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	経営トップ自らが、多様性を理解するよう努めステークホルダー全てに偏見を許容しない会社方針を示している。また行政を交えた意見交換会で、人権侵害防止や倫理面での適切な対応や現場事例の情報提供を行っている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	☐	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	品質方針の達成の為、JISの品質管理で継続的改善を図り、顧客から満足される品質提供を行っている。			3.9										12.4					
29	☐	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	日本工業規格JISを取得している。(JIS品質管理責任者6名、コンクリート技師6名、主任技師2名)											9							
30	☐	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	生コンは100%県産材料を使用し環境に配慮した資材を心掛けている。						6							12	13	14	15		
31	☐	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】 温暖化対策や治水対策に資する透水性生コンの製造・販売体制を構築していく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	現場に入る前の段階で、現地調査を行い、該当地域への影響を把握し改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17	
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域で行う美化活動および緑化活動の際には、会社として活動に参加するとともに、ダンプカーやミキサー車を使用した協力を実施している。				4							11			14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	基本	生コン製造に関しては骨材に100%地元県産材を使用している。									8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念・品質方針など明文化している。事業活動・方針等社員へ周知徹底を行う。									8	9								17
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	定例会議や研修を通してコンプライアンスの重要性を発信している。																		16
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	多数の技術資格者を配置し、体制を構築している。																		16
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	受注、製造から納品に至るまで発注者や利用者との対話を重視し、適切な対応を心掛けている。																	16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	基本	ハザードマップ・リスクマップ等を活用して役職者全員でプレインストーミングを行ってリスクを洗い出し、リスクマネジメントを行い、予め適切な対応している。																		16
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	基本	CSR方針を地域の災害対応と定め、災害が発生した際にミキサー車を活用した水の運搬に積極的に関わっている。																		16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	基本	事業継続力強化計画の認定を取得。(2022年8月8日) 2022関経強単認第3149号									9		11		13	13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	社内生え抜きの従業員が現場工事ノウハウを習得しており、事業承継の準備を行っている。									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）